

令和2年11月 2日(月)

松工祭 ～ 『出陣』心は密に疾風怒涛の松工魂～

11月2日、弁論大会および松工祭が行われました。感染症対策として、会場の体育館は3年生と事前申請済の生徒家族が着席し、第1体育館からWeb配信されたものを1・2年生は各教室で見ました。弁論大会の開会行事で西岡誠校長は「今回は、体育館と教室に分かれて話を聞くようになっていきます。人の話を聞くことも社会人の資質として大事なことです。体育館にいる3年生は、弁士の同級生として、自分の3年間の学校生活と重ねながら、そして、教室にいる下級生は、先輩の話をこれからの高校生活に役立ててください。話し手と聞き手の心が一体となって、気持ちが前向きになるような弁論大会になることを願います。」と、あいさつを述べました。引き続き行われた弁論大会では、工業各科を代表して8名の弁士が、自分の経験や自分を取り巻く環境に対して、高校生らしい意見や主張を訴えました。審査の結果、繊維科3年の清水亜依さん「救ってもらった側から救う側へ」が最優秀賞を受賞しました。

弁論大会後に、「新型コロナウイルス感染拡大の影響で開催が危ぶまれていた松工祭ですが、バザーなどの中止や一般公開を控えるなど、例年とは規模・内容とも変則とはなりましたが、無事に開催することができて喜んでいきます。」との西岡誠校長のあいさつで松工祭が始まりました。



松工祭



西岡誠校長あいさつ



第50回弁論大会



第50回弁論大会



1・2年生は各教室Web配信



吹奏楽部演奏会

【松工祭の様子】

